

イチゴの総合的病害虫管理(IPM)技術 紫外線(UV-B)システムによるイチゴうどんこ病防除 施設園芸栽培の省力化・高品質実証研究

背景・ねらい

UV-B電球形蛍光灯のイチゴうどんこ病に対する抑制効果を検討する。

成果の内容

「UV-B」照射でイチゴうどんこ病を抑制

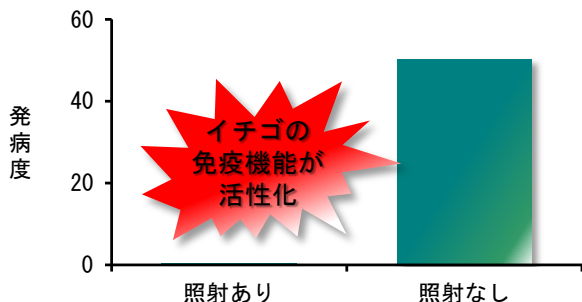


図1 イチゴうどんこ病の発病度 (葉)



図2 イチゴうどんこ病の発病果率 (果実)

従来のうどんこ病対策

- 農薬散布のタイミングが難しい
- 農薬散布の労力が大変
- 農薬散布回数が多い

UV-B電球形蛍光灯の正しい運用方法

UV-B電球形蛍光灯 SPWFD24UB1PA



UV-B電球形蛍光灯導入後

- 予防照射でうどんこ病を抑制
- 減農薬で散布労力を大幅に軽減
- 高い防除効果を減農薬で実現
- 取り付け簡単・長寿命



その他期待できる効果

- 成熟が早く早い時期に収穫可能 (市場価値up)
- 色付きや糖度up (環境条件等で効果に差あり)
- うどんこ病だけでなくハダニにも効果あり (反射資材との併用)
- 他作物の病害にも効果あり (キク等)

研究担当機関

- 宮城県農業・園芸総合研究所 ●農研機構 野菜花き研究部門
- パナソニック ラइटィングデバイス (株) ●(株) GRA

お問い合わせ先

- 宮城県農業・園芸総合研究所 (三県連携農業コンソーシアム宮城県拠点) TEL: 022-383-8118